トクダ株式会社
工場環境改善・設備診断・設計相談

粉じん作業の安全対策・
法令対応、今一度確認しませんか？

粉じん則(粉塵)対応・粉塵爆発対策 セルフチェックシート



粉じんを扱う作業では、健康障害の防止に加え、
粉塵爆発などの重大なリスクがあります。
気になる項目をチェックして、
専門家への相談をご検討ください。

1 作業・粉体の確認

- ☐ 取り扱う粉体の種類（材質・粒径・性状）を把握していない
- ☐ 「気噴（エアブロー）」「混合」「投入」「研磨」など、粉じんが発生する工程がある
- ☐ 粉じん則（粉じん障害防止規則）の対象作業か確認していない
- ☐ 作業内容の変更・増産後も、リスク確認をしていない

2 局所排気・集じん設備

- ☐ フードの吸引状態や制御風速を測定していない
- ☐ 粉じんが作業場に漏れている・舞い上がっている
- ☐ ダクトの詰まり・堆積・摩耗・穴あき・漏えいがある
- ☐ 集じん機の性能（風量・ろ過性能・圧力）を確認していない
- ☐ 設備の増設・改造後に、必要風量の見直しをしていない

3 粉塵爆発の対策

- ☐ 取り扱う粉体の爆発性・燃焼性を確認していない（SDS・試験データの確認ができていない）
- ☐ ダクト・集じん機・サイロなどに粉じんが堆積している
- ☐ 静電気対策（接地・帯電防止）を確認していない
- ☐ 火花・高温物・異物の吸込み対策が不十分
- ☐ 爆発時の圧力逃がし（放爆）や逆火防止などの対策を検討していない

4 作業環境・保護具

- ☐ 作業者の呼吸域に粉じんが流れている
- ☐ 防じんマスクを適切に選定・管理していない（DS1／DS2／DS3 など）
- ☐ 保護メガネの着用ルールが曖昧になっている
- ☐ 作業場の清掃・堆積防止が十分でない

5 届出・法令・点検記録

- ☐ 局所排気装置の設置・変更時に必要な届出を確認していない
- ☐ 粉じん則に基づく定期自主検査を実施していない
- ☐ 検査記録・風量測定・設備図面が整理されてない
- ☐ 作業環境測定（粉じん濃度）の実施状況を確認していない

いつもの設備、本当に大丈夫でしょうか？



粉じん作業では、健康障害の防止と
粉塵爆発のリスク低減の両方が重要です。
設備の診断・改善・法令対応まで、
工場の状況に合わせて
最適な対策をご提案します。

トクダ株式会社
工場環境改善・設備診断・設計相談
TEL 0561-42-4480
メール tokuda358@tokda.org
FAX 050-3457-9136

トクダ株式会社
工場環境改善・設備診断・設計相談

工場の安全・法令対応も、
今一度確認しませんか？

有機溶剤の安全対策 セルフチェックシート



気になる項目にチェックを入れて、
専門家への相談をご検討ください。

1 有機溶剤の管理

- ☐ 使用する有機溶剤の種類・特性を把握していない
- ☐ 作業や取扱量が届出の対象か確認していない
- ☐ 溶剤の保管場所・容器の管理が適切か不明
- ☐ 使用量の変更や工程の変更後に見直しをしていない

2 換気・局所排気設備

- ☐ 作業場の溶剤の蒸気が漏れていませんか？
- ☐ 局所排気装置の制御風速を確認していない
- ☐ ダクトの詰まり・劣化・漏えいはありませんか？
- ☐ 増設や設備の移設・改造後に適切か確認していない

3 防爆・電気設備

- ☐ 発火源となる設備の対策は適切ですか？
- ☐ 有機溶剤の蒸気が滞留しやすい場所になっていない？
- ☐ ファン・電気機器の防爆仕様は確認していますか？
- ☐ 配管・ダクトの材質が溶剤に適しているか？

4 届出・法令・記録

- ☐ 局所排気装置の設置や変更時に必要な届出の有無を確認していない
- ☐ 有機則・特化則・大気汚染防止法などの適用を確認していない
- ☐ 法定の定期自主検査、記録の保存を実施していない
- ☐ 設備図面・風量計算書・測定記録が整理されていない

こんなサインは要注意！

- ☑ 作業中ににおいや蒸気が気になる
- ☑ ダクトやフードの吸い込みが弱い
- ☑ 設備の増設・改造後、届出や法令の確認ができていない

いつもの設備、本当に大丈夫でしょうか？



有機溶剤を扱う工場では、作業条件の変化や
設備の老朽化により、思わぬリスクが
潜んでいることがあります。
少しでも気になることがあれば、
お気軽にご相談ください。

トクダ株式会社
工場環境改善・設備診断・設計相談
TEL 0561-42-4480
メール tokuda358@tokda.org
FAX 050-3457-9136